



元気もらった!!とことん全国交流集会

全国90生協から1015人 和歌山から13人参加

3月1日～2日熱海の後楽園ホテルで「いのちの大運動」とことん全国交流集会が開かれ、全国90の医療生協から1015人(組合員800人・職員215人)がつどう大交流集会となりました。和歌山からは13人が参加し全国から組合員活動などの取り組みや経験を学びました。

1日目は全体会で基調報告があり、「いのちの大運動2年目に向け、①出会い・ふれあいを支えあいの「かたち」にする」、②地域から選ばれ頼りにされる事業経営をつくる、③300万人の医療生協を目指し、日本医療福祉生活協同組合連合会へと重点項目をあげ、特に「かたち」にすることにこだわろうと報告されました。そのあと、23の分科会に分かれ、演題発表や健康体操などの分科会にそれぞれが参加し交流しました。

2日目は、津止正敏立命館大学教授による記念講演「くらし・介護と社会保障～男性介護研究より～」のテーマで話されました。介護体験記「介護者100万人へのメッセージ」の反響を紹介しながら、実態調査や事例にも触れ、介護保険から10年、介護の社会化は進んだが、実際には家族介護のかかえる問題を見えにくくしていると述べ、介護分野にで起きている実態を「見える化」するとりくみが必要と強調されました。介護問題、特に男性介護について非常に分かりやすかったと好評でした。



藤谷恵三事務局長のまとめでは、①医療部会として最後の大会である、この集会を立派に成功させたこと、②大きくなった組合員の力がいかに発揮されたこと、③大運動のすばらしさが実証され、組合員と職員の協力のとりくみで、宝が足元にあることがわかったこと、④取り組みのヒントが一杯紹介され、お互いに元気をもらったことなど、大会の特徴を4点にまとめました。最後に「まちづくりは人づくり」と述べ、私たちを待っている人がいる、医療生協をさらに大きくしていくと報告し、集会を終えました。

交流会に参加して・・・組合員さんのひとこと

- 健康体操分科会に参加して、若い組合員さんと同じように体操ができました。班で月4回のセラバンド転倒予防体操のお陰だと思いました。うれしかったです。教えていただいた体操を続けたい。
- 第2次リニューアルがはじまりますが、今回の集会に参加して、私自身もリニューアルできました。
- はじめて医療生協の大集会に参加させていただき、私も40年間他団体で全国の会議に出席しましたが、この交流集会ほど大きく感じたことはなかったです。本当に勉強になり、元気をもらいました。
- 記念講演が男性介護の研究について話され、大変だと思いました。組合員さんにぜひ、聞いてほしい内容でした。
- 分科会で支部分割の経験、健康講座の経験を聞き、中地区も参考ににして、役員さんらに提案しようと思いました。



- 演題発表の分科会に参加し、全国的に組合員と職員の協力で元気よく取り組んでいる経験を聞いてよかった。
- 担い手づくりや医療生協の姿が見える活動の経験が参考になった。和歌山の参加者の交流もできてよかった。
- 元気で楽しく活動をしている報告を聞いて、元気をもらいました。新しいナショナルセンターができる機会に夢を広げたいと思います。

2009年度仲間ふやし状況 09年4/1～10年2/28 医療生協到達 868人 年度目標達成まで132人

	東地区			中地区			南地区			河西地区			那賀地区			海南海草地区			その他			計		
	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残	目標	到達	残
第2次リニューアル09年度仲間ふやし目標達成月間	100	32	68	20	15	5	20	1	19	20	11	9	20	6	14	20	11	9	20	0	20	220	76	144